福山市中央図書館　発行　２０２４　Vol. １６０

YOUNG通信

福山市図書館のHP

おいしい読書

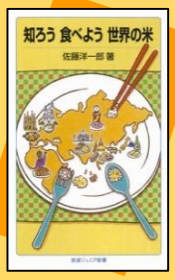
『ごはん食べにおいでよ』
小手鞠　るい／作
講談社　［Y913 コ］

父親と二人暮らしの中学生の雪は、料理が上手で土曜日以外の毎日食事を作っています。隣に住む由月や、友人のみかんとりんごたちを雪は自宅へ食事に誘います。
巻末には、四季に合わせたレシピも掲載されています。

おばさんのパン屋で働く14歳のモーナは、魔法が使えます。しかしその魔法は、パンを上手に焼いたり、クッキーにダンスさせたりするといった、パンと焼き菓子に関するささやかな魔法でした。
ある日、モーナは頭から血を流して倒れている少女の遺体を発見しますが、警察とともにやってきた異端審問官に犯人扱いされてしまいます。

『パン焼き魔法のモーナ、街を救う』
T. キングフィッシャー／著
原島　文世／訳
早川書房　［Y933 キ］

『知ろう食べよう世界の米』
佐藤　洋一郎／著
岩波書店　［Y616 サ］



『世界一くさい食べもの』
小泉　武夫／著　筑摩書房　［Y383 コ］

世の中には、納豆なんて比べ物にならないくらいくさい食べものがたくさんあります。世界一くさい魚の缶詰「シュール・ストレミング」や世界最強のチーズ「エピキュアー」等、においがきつくても、多くの人が喜んで食べています。
世界に溢れる、くさくても美味しい食べものを紹介します。

『ドーナツの歩道橋』
升井　純子／著
ポプラ社　［Y913 マ］

こちらもおすすめ！

19 としょ子のつぶやき としょコラム

「メレンゲの話」

メレンゲとは「卵白を泡立てたもの」「泡立てた卵白に砂糖を加えたもの」のこと。ふわふわした食感を出すお菓子作りには、なくてはならない存在です。
オーストリアからフランスのルイ14世に嫁いだマリー・アントワネットは、焼きメレンゲをとても好み、クリームをつける食べ方が好きだったとか。また、子どもたちのために手づくりしたともいわれています。
（参考文献）『ウィーン菓子図鑑』小菅　陽子／著　誠文堂新光社　［596.6 コ］

推し本

『あしたをみがけ
-姫川中学校みがき部-』
横沢　彰／作
新日本出版社　［Y913 ヨ］

中学一年生の灯可理（ひかり）は、友達づくりに乗り遅れて、休み時間を一人で過ごし教室での居場所がないと感じていました。
ある日、海で拾った大切な石を、校舎の裏の小屋で落としてしまったことで、みがき部に入部します。みがき部とは、海で見つけた石を研磨機と紙やすりでひたすらにみがく部活です。灯可理は、大切な仲間と出会い、まわりを気にせずやりたいことをやるすばらしさを知っていきます。

『中学生からの絵本のトリセツ』
川口　かおる／著
岩波書店　［Y019 カ］

小さい子のためのものだと思われがちな絵本ですが、アートとして飾ってみる、気楽に直感で選んでみる、好みの作家ごとに作品を読んでみるなど、いろいろな楽しみ方を著者はおすすめしています。心にしみる言葉に出会えたり、大切なことを伝えてくれたりする不思議な力も絵本にはあって、心がスカスカな時やイライラモヤモヤする時に、栄養補給のつもりで読んでみてほしいと、絵本とのつきあい方を教えてくれます。古今東西６４冊の絵本が紹介されています。

NEW BOOKS

『自分を動かす魔法』
齋藤　孝／著　三笠書房　［Y159 サ］

『ヤバすぎる！偉人の勉強やり方図鑑』
真山　知幸／著　大和書房　［Y280 マ］

『古生物がもっと知りたくなる化石の話』
木村　由莉／著　岩波書店　［Y457 キ］

『ことばが変われば社会が変わる』
中村　桃子／著　筑摩書房　［Y810 ナ］

『スマホ片手に文学入門』
小池　陽慈／著　笠間書院　［Y901 コ］

『王様のキャリー』
まひる／著　講談社　［Y913 マ］

『５分後にエモい古典文学』
野月　よひら／著
スターツ出版　［Y913 ／］

『万葉集』、『枕草子』、『源氏物語』、『徒然草』など古典文学 10 作品のそれぞれ一部分を取り上げ、「古文」、簡易に説明した「あらすじ」、その場面を現代の恋愛に置き換えた「物語」が書かれています。現代版の物語は、学校の授業で習ってきたような現代語訳とは違い、エモい雰囲気が伝わるような新しい解釈となっています。いつの時代にも変わらない思いや悩みがあったことが分かり、古典文学の世界を身近に感じることができる一冊です。

電子図書について

パソコンやスマホで本が読める「福山市電子図書貸出サービス」登録受付中です。くわしくは近くの図書館におたずねください。

福山市中央図書館
福山市霞町一丁目１０番１号
ＴＥＬ９３２－７２２２
休 館 日・・・毎月第２火曜日
開館時間・・・１０：００～１９：００